

第2回『ミマモリングソフト』ウェビナー 参加者の皆さんの声をご紹介！

第231号 2021年8月2日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていくよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

実践発表園のお知らせ

第2回「ミマモリングソフト」ウェビナー 実践発表会が終了しました。

今回、東京都のさかいりんごの木保育園、新宿こだま保育園、
熊本県の新明保育園の3園の先生方に実践発表をして頂きました。

実践発表動画につきましては、ソフト活用園の皆様には、
9月号の竹取新聞と一緒に動画閲覧用QRコードをご案内予定です。

実践発表内容の項目につきましては、本誌第228号をご参考ください。
今回は、実践発表を聞いた園の感想をご紹介したいと思います！

■参加者皆さんからの感想

異年齢での買い物、面白く選択制をすることにより、
よい刺激になると思ったので取り組んでみたいです！

実際に手作り玩具や、いろいろな匂いや音がするマラカスを作ったり、
子どもたちと植物を育てたいと思いました。

野菜作りで、子どもたちに予め何を育てるか言わず、成長を観察していくのが面白いと思いました。子どもたちが気付いたことを図鑑で調べたり、友達と共に感し合う姿など何を育てているか知っている時はとは、また違う一面が見られるのではないかと思いました。

プールの選び方で冷たいのが苦手な子がいたので、水温で選べるのもいい
と思いました。

保育のテーマ決め、それを子どもと保育者間で橋渡しできるように
ロボット（第3者）を使うという点で面白いなと思った。